

みどり 水土里ネット富山だより

(富山の土地改良情報)

2022
第581号

1月1日発行



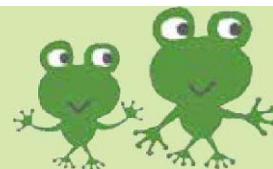
県営農地整地整備（ほ場）今泉地区（富山県高岡市）

- | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|-----------------------|--------------------------------|-----------------------|---------------------------------|-------------------------------|------------------------------|---------------------------------|--------------|---------------------|----------------------------------|----------------|---------------------------------|---------------|
| 監事 | 監事 | 代表監事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 専務理事 | 副会長 | 会長 |
| (他職員一同) | 紫藤 健一
庄西用水土地改良区理事長 | 桜井 森夫
小矢部市土地改良区理事長
小矢部市長 | 道小島 茂生
魚津市土地改良区理事長 | 亀山 彰
常東用水土地改良区理事長
富山県議会議員 | 夏野 元志
射水平野土地改良区理事長
射水市長 | 上田 英俊
入善土地改良区理事長
衆議院議員 | 大井 正樹
高岡市土地改良区理事長
高岡市議会議員 | 夏野 修
砺波市長 | 岩田 忠正
城端土地改良区理事長 | 中川 忠昭
常西用水土地改良区理事長
富山県議会議員 | 永森 雅之
学識経験者 | 鹿熊 正一
朝日町土地改良区理事長
富山県議会議員 | 堂故 茂
参議院議員 |



水土里ネット富山

(富山県土地改良事業団体連合会)



CONTENTS

1 新年のご挨拶

富山県土地改良事業団体連合会長	堂故 茂	1
全国水土里ネット会長	二階 俊博	2
全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員	進藤 金日子	3
全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員	宮崎 雅夫	4
富山県知事	新田 八朗	5
富山県議会議長	五十嵐 務	6
北陸農政局長	石川 善成	7
富山県農林水産部長	堀口 正	8
富山県農林水産部 農村整備課参事	宮田 義人	9
富山県農林水産部 農村振興課長	山森 主税	10

2 水土里探訪ウォーク in 「朝日」 の開催

3 第15回「ワクワクとやま」むらづくり推進大会の開催

4 全国水土里ネット会長会議顧問 進藤金日子氏（参議院議員）来県

5 第43回全国土地改良大会（群馬大会）

6 北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 中央要請

7 北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 北陸農政局要請

8 農業農村整備の集いー農を守り、地方を創る予算の確保に向けてー

9 令和3年度富山県建設優良工事（土地改良部門）の表彰

10 令和3年度北陸ブロック土地改良区体制強化事業 新規担当者研修

11 令和3年度換地関係異議紛争処理実務研修会（北陸ブロック）

12 各種研修会

①令和3年度 富山県複式簿記導入促進特別研修会

②富山県構造改革農地整備推進協議会 研修会

13 式典 小水力発電所の運用開始式 外輪野用水P/S

14 式典 水橋農地整備事業所の開所式

15 <情報>複式簿記導入等相談窓口のご案内

16 <情報>富山県農業用水小水力利用推進協議会

17 <情報>ため池サポートセンターの設立

18 <情報>富山県土地改良区運営基盤強化推進協議会の設立

19 <情報>富山県多面的機能推進協議会

20 <情報>非補助農業基盤整備資金のご案内

21 <情報>北陸農政局からのお知らせ 北陸農政局の排水ポンプ車を派遣します

22 <お知らせ>今後の主な行事予定



新年のごあいさつ

参議院議員
富山県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット富山)
会 長 堂 故 茂

新年明けましておめでとうございます。令和4年の年頭に当たり、会員ならびに関係の皆様にご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃から農業農村整備の推進ならびに本会の業務運営に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2年続けて新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が懸念される中で新年を迎えることになりました。我が国では感染者数は減少傾向にありますが変異株の増加など楽観出来ない情勢が続いています。

このコロナウイルス感染症の影響を受け、農業農村は大きな課題に直面しています。外食産業需要の落ち込みなどの要因によりコメの買取価格は大幅に下落し、コメ農家にとっては危機的といえる状況になりました。また、コミュニケーションの不足により農村においては、集落機能の低下に拍車がかかり、地域資源の保全活用や農道、用排水路等の管理が困難になっている地域も見られています。

一方では、自給率の低い我が国においてはウイルスの感染拡大が世界的な物流システムにも大きな影響を与えたことから食料安全保障の確立の重要性が認識されることになりました。

このような時にこそ、農業の成長産業化を目指し、生産性の向上や高収益作物導入のための更なる大区画化・汎用化に加えてICTや自動走行農機技術に対応した生産基盤の整備を進め、農業の体質強化を図っていくことが必要でありますし、一方では特に中山間地域においては、生活圏として人が住み安心して農林業を営んでいける環境づくりを地域振興策として行なっていくことが極めて重要なことと考えております。そして、こうした産業政策と地域政策が共に推進されることが防災と国土保全に大きな役割を果たすものと思っております。

昨年末にはこうした施策が盛り込まれた国予算は、国土強靱化5か年加速化対策等を含めた令和3年度補正予算と令和4年度当初政府予算案を合わせて土地改良予算として6,300億円が確保される見通しとなりました。これも土地改良関係者が一致団結して活動した成果であり、心から御礼を申し上げます。

県上連では、昨年3月に策定された「土地改良長期計画」にある「生産基盤の強化による農業の成長産業化」、「多様な人が住み続けられる農村の振興」、「農業・農村の強靱化」の3つの政策課題に対応しながら、県選出の国会議員はもちろん、われわれ土地改良の代表として6年間活躍され、今年再び正念場を迎える進藤金日子参議院議員と、宮崎雅夫参議院議員とともに力を合わせて農業農村整備事業の推進に取り組んで参りますので、皆さんの変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、コロナウイルス感染症の1日も早い終息を願うとともに本年が皆様とご家族にとりまして希望に満ちた年となりますように心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年に当たって

全国水土里ネット
会長 二階 俊博

令和4年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。新型コロナウイルスの感染が世界各国で拡大する中で、新しい年を迎えることとなりました。我が国では、ワクチン接種が進み感染者数は減少しているものの、世界的には変異株の感染が拡大し予断を許さない状況が続いております。

皆様には、感染防止のためにできることを今一度ご確認いただき、コロナ禍を共に乗り越えて頂きたいと願っております。

さて、昨年3月に新たな土地改良長期計画が策定され、三つの政策課題に取り組むこととされました。生産基盤の強化による農業の成長産業化、多様な人が住み続けられる農村の振興、農業・農村の強靱化といった政策課題に対して具体の施策が定められ、中でもスマート農業実装の加速化、ため池の防災対策の集中的かつ計画的な推進、流域治水の推進は、今後の農業農村整備を進める上で大事な要素となってくるものです。

令和3年度予算につきましては、これらの政策課題の解決に向け、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,468億円を確保することができました。この結果、令和3年度の補正予算を含めると6,300億円となります。

皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

一方、第五次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても土地改良区等の女性理事登用が成果目標とされたところであり、我々、土地改良団体においても将来の組織体制強化のためにも、女性参画を進めていかなければなりません。

私たち土地改良に携わる者として、政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におき農業農村の振興に積極的に貢献していくことが重要であると考えております。また、農業農村の維持、発展に大きく貢献していることについて広く国民の皆様へアピールし、共感を得ていく努力も必要であります。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう引き続き奮闘して参りたいと思います。

また、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員と宮崎雅夫参議院議員が元気に全国を飛び回り、まさに「車の両輪」となって活躍されています。本年は進藤さんの2回目の闘いとなりますが、今後は、進藤さん、宮崎さんの活動と連携して、更に一層「闘う土地改良」の浸透が図られるよう念じております。

最後になりますが、輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、新型コロナウイルスの不安が払拭され、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げます、私の新年のご挨拶といたします。



新年を迎えて

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 進藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、富山県の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。本年も何卒宜しくお願い致します。

私も皆様にご支援をいただき国政に送り出していただいてから、早5年半が過ぎました。土地改良予算の動向を報告し、私なりの政治スタイルを再確認しながら次のステップを展望してみたいと思います。

昨年末には、令和3年度補正予算が臨時国会において可決、成立しました。土地改良予算は、総額1,832億円（TPP等対策：774億円、米対策：46億円、国土強靱化5か年加速化対策：1,012億円）です。令和4年度当初予算政府原案での土地改良予算は4,468億円（令和4年度からデジタル庁計上となる政府情報システム予算を含む。）であり、令和4年度の予算額は補正と当初を合わせて6,300億円となり、本年度と同水準の予算が確保できる見通しとなりました。

主な事業制度の新規・拡充事項としては、①農家負担がゼロの「農地中間管理機構関連農地整備事業」の工種に農業水利施設や農道、暗渠排水等を追加（現在は区画整理と農地造成のみ）、②「農地耕作条件改善事業」の助成対象に円らぼダム導入に係る調整活動や畦畔補強等とともに除草機器を追加、③省エネ化・再エネ利用に取り組む「かんがい排水事業」の事業費要件や末端要件を緩和、④「土地改良施設維持管理適正化事業」に「防災減災機能等強化対策」（防災・減災機能の強化、施設管理の省エネ・再エネ利用や省力化を図るための施設整備）を新設（国費率を従来の30%から50%に嵩上げ）、⑤「土地改良区体制強化事業」の助成対象に小規模土地改良区の業務再編を追加することなどが挙げられます。

私は、これまで全国津々浦々を訪問し、現場の実情を視て、現場の声を聴いて、それらを国政の場に届け、課題解決の実現に努めて参りました。私自身、現場日線、国民日線での政治こそが、いま強く求められていると痛感しています。こうした活動が事業制度の新規・拡充要求に繋がっているものと確信しています。富山県内にも度々訪問し、色々なご指摘や多くの要請をいただきました。こうした現場の声を真摯にお聴きし、改善できるものはすぐに改善し、事業制度の新規・拡充に繋げる必要があるものは次年度の予算要求に反映できるように更に努力して参ります。全国各地の農業・農村は多様であり、それ故に各種要請の内容も多様です。引き続き同志の宮崎雅夫議員と力を合わせ、必要な予算の確保とともに、現場の課題解決に直結する制度構築等に全力で取り組んで参ります。今後とも、これまでの政治スタイルとスタンスを変えることなく、泥臭く鈍重でも、急峻な斜面を一步一步踏み締めて前進する牛のように精進し、現場が抱えている課題を一つでも多く解決できるように結果を出して参る所存です。

皆様からお預かりした参議院議員の任期も残すところ7か月余りとなりましたが、まずは貴重な任期を一日たりとも無駄にすることなく政治活動に全力投球して参ります。そして、次のステップに進むためには改選という高く厚い壁を超えなければなりません。私自身、この壁の突破に専心努力して参る覚悟ですので、皆様の引き続きのご指導とご支援を心からお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしております。



令和3年の新年ご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 宮崎 雅夫

新年明けましておめでとうございます。富山県土地改良事業団体連合会会員各位ならびにご関係の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年10月に発足した岸田内閣ならびに11月の第二次岸田内閣において、進藤金日子参議院議員はじめ先輩国会議員のご指導と富山県の皆様のご支援により、農林水産大臣政務官を拝命いたしました。本年も気持ちを新たに、現場第一主義に徹しながら皆様のご意見をお伺いしつつ、活動を展開して参る所存ですので、引き続きご指導いただきますようお願い申し上げます。

さて、ここ2年におよ新型コロナウイルス感染症の影響により、数次に亘る緊急事態宣言の発令や自粛要請等に伴い、日常生活や社会経済活動など多方面に多大な影響が及び、農林漁業の現場も例外ではありませんでした。加えて、農山漁村では、人口減少や高齢化の進行による従事者不足、資材価格や燃油の高騰など、多くの課題を抱えています。これから迎える可能性があるウィズコロナの時代において、食料の多くを輸入に頼る我が国にとって、経済安全保障の重要性が叫ばれる中、食料安全保障の確立のため、我が国の農林水産業の持続的な発展は不可欠であり、そのためには農業者等の所得を確保し、農業・農村が持つ多面的機能を持続的に発揮する基盤整備の推進が重要になると考えています。

昨年末に閣議決定した、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づく令和3年度第一次補正予算においては、「デジタル田園都市国家構想」の推進による地方経済の基盤となる農林水産業の活性化、コロナの影響で減退した農林水産物への需要喚起等の支援、農林水産業を地域の成長産業とする輸出力強化や輸出産地支援、農業の生産現場におけるデジタル技術の実装等を通じたスマート化推進対策、さらには、気候変動の影響により激甚化・頻発化する災害等に対応する、防災・減災、国土強靱化の取組強化、農業インフラの老朽化対策や流域治水等の予防保全の強化が網羅されています。これから国会で議論される、みどりの食料システム戦略の実現に向けた政策の推進やカーボンニュートラル実現等、農林水産業の成長産業化や農山漁村の活性化等を推進するための令和4年度当初予算と併せて、円滑かつ効果的にこれらが実施されるよう、引き続き進藤金日子議員とともに頑張っております。

これからも皆様とともに土地改良を推進し、農山漁村の未来の礎を築き、日本の命綱とすべく、進藤金日子議員とともに一所懸命に取り組んで行けるよう、富山県の皆様には引き続き格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとってよりよい一年となりますようお祈り申し上げ、年頭のあいさついたします。本年もどうぞよろしく願いいたします。



「幸せ人口1000万」ウェルビーイング 先進地域を目指して

富山県知事 新 田 八 朗

明けましておめでとうございます。令和4年の初春を県民の皆様とともに寿ぎたいと存じます。さて、私は、令和2年11月の知事就任以来、「県民日線」、「スピード重視」、「現場主義」を大切にしたい県政運営に努め、県民の皆様にお約束している八つの重点政策・八十八の具体策にも誠心誠意取り組んでまいりました。

昨年は、新たな成長戦略の策定を進めるとともに、「ワンチームとやま」連携推進本部会議による市町村との連携・協力の強化や、行政、産業・地域社会のデジタル・トランスフォーメーションの推進等を着実に進めてきたところです。

一方で、新型コロナウイルス感染症の再拡大や記録的な大雪、高病原性鳥インフルエンザの発生など、県民の皆様の命や暮らしに関わる重大な事案に見舞われました。

これらの困難に対応し、乗り越えていくなかで、県民の皆様が豊かで安心して暮らせる社会の実現に取り組んでいく決意を新たにしています。

依然として、新型コロナウイルス感染症の影響が続いていますが、県としましては、県民の皆様の命と暮らしを守ることを最優先課題として、引き続き感染拡大防止対策や経済対策に取り組み、県民の皆様とともに、この危機を乗り越えてまいります。

同時に、ビヨンドコロナを見据えた新しい富山県の未来をつくっていかねばなりません。

これからは、収入や健康といった外形的な価値だけでなく、自己実現、周囲の人間関係や地域社会とのつながりなども含めて、自分らしくいきいきと生きられること、主観的な幸福度を重視した「真の幸せ」（ウェルビーイング）を目指すことが、県民の皆様のやる気や意欲につながり、結果として、経済・社会の活力をさらに高めるものと考えています。

このため、現在議論を進めている新たな成長戦略では、県民の皆様のウェルビーイングの向上を図ることにより、次世代の価値を生む人材が富山に育ち、また、県外から引き寄せられて本県に集積することを核に据えることとし、「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」をビジョンとしていきたいと考えています。

本年も、県民の皆様とワンチームとなって、笑顔と希望に満ちあふれ、チャンスがあり、夢を叶えることができる、ワクワクすることがたくさんある富山県の実現に向けて一層努力してまいります。

新年にあたり、県民の皆様の県政に対するご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。



新年を迎えて

富山県議会議長 五十嵐 務

新年明けましておめでとうございます。

令和4年の新春を、皆さまとともに寿ぎたいと存じます。

日頃から本県の農業・農村整備に多大なご尽力をいただき、深く感謝を申しあげます。

さて、我が国の社会経済環境は、少子高齢化の進行と人口減少時代の到来、グローバル化の一層の進展や環境・エネルギー問題、テロ・事件、災害による社会不安の顕在化など大きく変化しております。

また、農業・農村を取り巻く環境は、担い手の高齢化や後継者不足、農産物価格の低迷や産地間競争の激化など、転換期を迎えているなか、新型コロナウイルス感染症の影響による需要減少が続いたことなどにより2021年産米の概算金にも大きな影響が出ております。

こうしたことから県では、アフターコロナを見据え、本県の実情に即した政策が構築されるよう国に働きかけるとともに、効果的なPRの推進等による富山米のブランド力向上、デビュー4年目を迎えた富山米新品種「^ふ富^ふ富」の販売戦略の転換、県産農産物等の国内外への販路拡大、担い手への農地集積、園芸生産の拡大等による所得向上、ICT等を活用したスマート農業の推進や農地の大区画化・汎用化等の農業生産の基盤づくりなどに積極的に取り組むこととしております。

県議会といたしましても、必要な公共事業予算の確保や安心して農林水産業を営める環境づくりなどへの積極的な支援などにより、本県農業・農村がより元気になるよう全力を尽くしてまいりる所存であります。

皆さまにおかれましても優れたノウハウや技術力を活かし、個性豊かな魅力ある農業・農村づくりに向けて、一層のご尽力を賜りますようお願い申しあげます。

結びに、新しい年が皆さまにとって希望に満ちた幸多い年でありますようお願い申しあげまして、新年のご挨拶といたします。



年 頭 挨 拶

北陸農政局長 石 川 善 成

新年にあたり、謹んで御挨拶を申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、年初の大雪や8月の豪雨等、全国各地で自然災害が発生しました。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

皆様方におかれましては、口頃から農林水産行政に対する御理解、御協力を賜り、とりわけ農業農村整備事業の推進に御尽力をいただいていることに、厚く御礼申し上げます。

さて、農林水産省では、昨年3月に「土地改良長期計画」を策定しました。新たな計画では、「生産基盤の強化による農業の成長産業化」、「多様な人が住み続けられる農村の振興」、「農業・農村の強靱化」の3つの政策課題に対応するため、担い手への農地の集積・集約化、スマート農業の推進などによる農業競争力の強化、高収益作物への転換などを通じた産地収益力の強化、所得と雇用機会の確保やインフラ整備による農村の振興、頻発化・激甚化する災害に対応した施設整備等による農業・農村の強靱化の取組を推進することとしています。

特に北陸地域は、耕地面積の約9割が水田で、農業産出額のうち米が占める割合は約6割と高い有数の良質米の産地ですが、基幹的農業従事者のうち65歳以上が占める割合は、全国平均の69.6%に対して78.1%と高齢化が進んでおり、若い農業者の育成・参入には苦勞している状況です。

このような状況を打破し、北陸の水田農業を発展させるには、“儲かる農業”を実現することが重要であり、野菜や果樹などの高収益作物の導入、生産コストの削減、6次産業化や輸出の促進などに取り組む必要があります。これらの取組を推進するためには、農地の大区画化・汎用化を進め、担い手に集積するとともに、水管理の合理化等を進め、若者にとって魅力ある農業にしていきたいと考えています。

また、農林水産省が昨年5月に取りまとめた「人・農地など関連施策の見直し」では、担い手や農地集積の対策のほか、安全・安心な生活環境の確保、農村を支える人材育成等について、今後の施策の方向を示しております。

特に、土地改良制度については、ため池の豪雨対策や農地・農業水利施設の整備支援、土地改良事業団体のサポート体制の強化などに関する施策の見直しが盛り込まれ、現在、具体的な内容が検討されています。

また、土地改良区については、現在、農地の整備や農業用水の管理を通して、生産基盤の維持、地域資源の保全等の重要な役割を担っているところですが、今後とも、地域の農業・農村を支える持続可能な団体となるように、運営基盤の強化を図るための組合員資格、役員、会計基準等に関する新たな制度の定着・活用や女性理事の登用など多様な人材の参画による組織体制の確立に向けた取組を推進することとしています。

北陸農政局といたしましても、土地改良区の体制強化を含め農業農村整備事業等の推進を通じて、素晴らしい北陸の農業・農村が、次の世代へ確実に引き継がれるように、皆様方と連携して頑張っていきたいと考えています。

結びに、本年も引き続き農林水産行政の推進について御理解と御協力をお願いしますとともに、富山県土地改良事業団体連合会の皆様方にとって実り多い年となりますことを御祈念申し上げ、年頭の挨拶と致します。



新年のごあいさつ

富山県農林水産部長 堀 口 正

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい初春を迎え、富山県土地改良事業団体連合会、土地改良区をはじめ関係の皆様方に謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

日頃から本県の農業農村整備はもとより、農政の推進に格別のご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、農業農村を巡っては、自然災害や気候変動に伴う影響、生産者の減少・高齢化等による生産基盤の脆弱化や農山漁村のコミュニティの衰退等の課題に直面しています。

このような中、近年の農業DXの推進やスマート農業技術の導入の加速化に伴い、魅力あふれる「競争力の高い農業」や「豊かで美しい農村」を実現し、本県農業の持続的な発展や地域振興につなげてまいりたいと考えています。

このため、県では、農業経営の安定化と収益力の向上に向け、農地を大区画化し、担い手への集積・集約化を加速させ、米の生産コストの大幅な低減化を進めております。令和3年度には、北陸地域では初めてとなる国営農地再編整備事業「水橋地区」が着工し、農業者の皆様が将来にわたって夢と希望を持って農業を営み、地域農業の発展の全国のモデル地区となることが期待されています。

さらに、平成31年に施行された改正土地改良法の内容を踏まえ、各土地改良区では、将来を見据えた体制づくりを進められています。県としても、令和4年度決算での貸借対照表等の作成・公表に向け、これまで以上に土地改良区の体制強化を積極的に支援してまいります。

また、県では、毎年必要な土地改良事業関係予算の確保に懸命に取り組んでおり、県の令和3年度予算においても、令和2年度2月補正予算を含めて178.9億円を確保し、着実に事業を推進しています。今後とも、国事業を積極的に活用し、事業制度の充実を図るとともに、事業推進に必要な予算の確保に努めてまいります。

本年も、本県の基幹産業である農業が守られ、意欲ある農業者が夢と希望を持ち安心して営農に取り組めるよう、県として、職員一同、心を一つに全力で取り組んでまいりますので、会員各位におかれても、引き続き、本県農政の推進により一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、土地改良関係団体の限りないご発展と皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申しあげまして、新年のごあいさつといたします。



新年のご挨拶

富山県農林水産部
農村整備課参事 宮田 義人

令和4年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

土地改良関係の皆様方には、日頃から本県の農業・農村の振興に格別のご尽力とご理解、ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス対策の切り札とも言えるワクチン接種が進みましたが、その効果が社会全体に見え始めたのは10月頃からで、ようやく年末に長く続いてきた白肅規制が緩和されたところであり、2年続けて生活や経済に大きな影響を及ぼしてきました。今年こそは、各種行事が多く参加者のもと、にぎやかに執り行え、活力ある社会生活を送ることができるよう期待するところです。

さて、農業・農村を巡る状況ですが、昨年度、米の消費量は外食産業等の危機的な状況から、在庫が過剰となり、作付け後に主食用米のコシヒカリを飼料用米へ転換する必要に迫られることに加え、米の買取価格が大幅に下落し、農業者にとって非常事態ともいえる状況となりました。本県において、農業・農村の振興はかるため、私たち土地改良関係者は、生産者・耕作者としての農家の声はもとより、消費者、販売者、流通関係者等の声をよく聞きくことが一層求められています。新品種「^ふ富^ふ富」の作付け拡大や、1億円産地づくりに位置づけられた園芸作物の展開などを推進し、農地の大区画化・汎用化や農業水利施設の高機能化を進めるとともに、自動走行農機等の導入・利用に対応した緩傾斜法面の農地整備、水管理の大幅な低減を目指したICT技術の活用等にも積極的に取り組むことが求められています。また、災害に強い安全・安心な県土づくりを進める「防災・減災・国土強靱化」や「流域治水」、人口減少・高齢化に対応した「農村地域づくり」にも積極的に取り組んでいく必要があります。

県としましては、こうした課題に向き合い、魅力あふれる「競争力の高い農業」や「豊かで美しい農村」の実現にむけて、土地改良事業を契機として、農家所得の増加と担い手の育成、確保に取り組んでゆく所存です

どうか皆様方におかれても、農山村地域が今後とも持続可能な地域社会となって、農業・農村のもつ多面的機能が長く発揮され続けるとともに、一人ひとりが夢にチャレンジし、より多くの方々が「ウェルビーイング（真の幸せ）」を実現、享受できますよう、一層のご支援、ご協力をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

終わりに、土地改良関係団体のご発展と、皆様方の今後ますますのご健勝、ご多幸をお祈り申しあげまして、年頭のごあいさつといたします。



年頭ごあいさつ

富山県農林水産部
農村振興課長 山 森 主 税

令和4年の新たな年初めにあたり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。皆様方には、日頃から本県の農業・農村の振興に格別のご尽力とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、コロナ禍の中、印象的なものとしては、東京オリンピック、パラリンピックの開催、各種国内スポーツの再開、国民へのワクチン接種の実施などがございましたが、県内で開催された、とやまマラソン、ワクワクとやま村づくり推進大会、多面的機能支払い推進研修会についても、主催者側として深く心に刻まれております。そして今も、新型コロナウイルス感染症が長引き、社会に深刻な影響を与えておりますが、日本国民の真面目さや勤勉性、感染症に立ち向かう強い意志と団結により、早期に克服できるものと信じております。

さて、農業・農村に目を向けますと、昨年5月に策定された「みどりの食料システム戦略」に基づき、食料・農業の持続的発展と地域環境の両立を図る取組が推進されているほか、新たに「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、スマート農業の推進や地域におけるデジタル環境の整備による農山漁村の活性化等が期待されているところです。

本県においては、農山村の振興策として、担い手の育成・確保を図るため、農業生産基盤整備の整備と農地集積の促進と併せて、多面的機能支払いや中山間直接支払などの制度を活用し、江ざらいや農業用施設の簡易補修、草刈りやイノシシ等の鳥獣被害防止対策など、集落等が主体の共同活動で担い手を支える環境づくりに積極的に取り組みます。

また、女性の活躍が農村の活性化に大きな影響を与えることから、農産物の加工・販売、新商品の開発など、女性グループ等の起業や発展を6次産業化の推進として支援して参ります。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に新しいライフスタイルが急速に普及する中、都市住民を中心に農村への関心が高まっています。こうした状況を捉え、農山村が有する豊かな地域資源を活用して、農業・農村を体験するとやま帰農塾や農泊等の都市農村交流の取組を、これまで以上にワクワクする魅力あるものにして、農業・農村の関係人口の拡大を図っていきます。

こうした県の施策は、現在、見直しを進めている新たな「富山県農業・農村振興計画」に反映させるため、皆様とともに様々な取組を柔軟かつ大胆に進めていき、県の成長戦略の柱となる経済的、身体的、精神的、社会的にも満たされた状態である真の幸せ「ウェルビーイング」の向上に結びつけていきたいと考えておりますので、引き続き、皆様方からのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、土地改良関係団体のご発展と、皆様方の今後ますますのご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



年頭ごあいさつ

富山県農林水産部
農村振興課長 山 森 主 税

令和4年の新たな年初めにあたり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。皆様方には、日頃から本県の農業・農村の振興に格別のご尽力とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、コロナ禍の中、印象的なものとしては、東京オリンピック、パラリンピックの開催、各種国内スポーツの再開、国民へのワクチン接種の実施などがございましたが、県内で開催された、とやまマラソン、ワクワクとやま村づくり推進大会、多面的機能支払い推進研修会についても、主催者側として深く心に刻まれております。そして今も、新型コロナウイルス感染症が長引き、社会に深刻な影響を与えておりますが、日本国民の真面目さや勤勉性、感染症に立ち向かう強い意志と団結により、早期に克服できるものと信じております。

さて、農業・農村に目を向けますと、昨年5月に策定された「みどりの食料システム戦略」に基づき、食料・農業の持続的発展と地域環境の両立を図る取組が推進されているほか、新たに「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、スマート農業の推進や地域におけるデジタル環境の整備による農山漁村の活性化等が期待されているところです。

本県においては、農山村の振興策として、担い手の育成・確保を図るため、農業生産基盤整備の整備と農地集積の促進と併せて、多面的機能支払いや中山間直接支払などの制度を活用し、江ざらいや農業用施設の簡易補修、草刈りやイノシシ等の鳥獣被害防止対策など、集落等が主体の共同活動で担い手を支える環境づくりに積極的に取り組みます。

また、女性の活躍が農村の活性化に大きな影響を与えることから、農産物の加工・販売、新商品の開発など、女性グループ等の起業や発展を6次産業化の推進として支援して参ります。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に新しいライフスタイルが急速に普及する中、都市住民を中心に農村への関心が高まっています。こうした状況を捉え、農山村が有する豊かな地域資源を活用して、農業・農村を体験するとやま帰農塾や農泊等の都市農村交流の取組を、これまで以上にワクワクする魅力あるものにして、農業・農村の関係人口の拡大を図っていきます。

こうした県の施策は、現在、見直しを進めている新たな「富山県農業・農村振興計画」に反映させるため、皆様とともに様々な取組を柔軟かつ大胆に進めていき、県の成長戦略の柱となる経済的、身体的、精神的、社会的にも満たされた状態である真の幸せ「ウェルビーイング」の向上に結びつけていきたいと考えておりますので、引き続き、皆様方からのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、土地改良関係団体のご発展と、皆様方の今後ますますのご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

第15回「ワクワクとやま」むらづくり推進大会の開催

令和3年11月1日に富山県民会館ホールにおいて富山県主催による第15回「ワクワクとやま」むらづくり推進大会が開催され、農業及び土地改良関係者等約500人が出席しました。富山県では農業・農村の振興と多面的機能の発揮を図るため、多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度、耕作放棄地対策や都市農山漁村交流を推進しており、これら取組の必要性や成果を県民の皆さんに広くお知らせするとともに、活動指導者の情報交換等を図るために開催されたものです。

新田八朗知事の挨拶のあと、来賓として石川善成北陸農政局長、五十嵐務県議会議長、堂故茂富山県土地改良事業団体連合会会長の挨拶があり、引き続き今年度 農村振興・環境保全優

良活動コンクール知事賞の受賞6団体に知事から賞状が贈られました。

次に、受賞6団体から活動内容について事例発表があり、その後、富山県産特産品の抽選会が行われました。最後に「ワクワクとやまむらづくり」に向けて総力を挙げて取り組むとの大会宣言がされました。

優良活動受賞団体は、次の6団体です。

- ◇明日集落協定（黒部市）
- ◇大崎野集落協定（滑川市）
- ◇塚越農地・水・環境保全会（立山町）
- ◇末友集落協定組織（小矢部市）
- ◇稲積地区みどりの会環境保全会（射水市）
- ◇江波地区環境保全推進委員会（砺波市）



全国水土里ネット会長会議顧問 進藤金日子氏(参議院議員) 来県

令和3年7月30日(金)、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子氏(参議院議員)が来県されました。

はじめに、国営水橋地区を現地視察され、上条地区センターでは国営水橋地区農地整備期成同盟会との意見交換が行われました。

パレブラン高志会館(富山市)に移動し、当会主催の土地改良区理事長研修会に講師として出席され、「これまでの取組と今後の方向性について」をテーマにご講演いただきました。



国営水橋地区を視察する進藤顧問



土地改良区理事長会議で講師を務める進藤顧問



国営水橋地区農地整備期成同盟会から要請書を手渡される進藤顧問

第43回全国土地改良大会(群馬大会)

令和3年10月6日(水)Gメッセ群馬において、第43回全国土地改良大会群馬大会が『～鶴舞う形 群馬の大地 水土里の未来へ ここから羽ばたいて～』をテーマに、全国からオンラインで3,000人以上の土地改良・農業農村整備事業関係者が参加し開催されました。

式典は、開催県である群馬県土地改良事業団体連合会の熊川栄会長の挨拶で始まり、全国水土里ネットの二階俊博会長から主催者挨拶がありました。続いて、山本一太群馬県知事や富岡賢治高崎市長から歓迎の挨拶、さらに、金子原二郎農林水産大臣(安部伸治農林水産省農村振興局長代読)及び都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問である進藤金日子参議院議員並びに宮崎雅夫参議院議員から祝辞が述べられました。その後、土地改良事業功績者表彰が

行われ、農林水産大臣表彰6名をはじめ、農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会会長表彰45名が表彰されました。

続いて、基調講演では農林水産省農村振興局の安部伸治次長、講演では、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問の進藤金日子参議院議員がそれぞれ土地改良をめぐる動きについて説明されました。

その後大会宣言に移り、最後に次期開催県の沖縄県が紹介され、閉会しました。

〔本県の受賞者〕

・全上連会長表彰

高岡市土地改良区 理事長

富山県土地改良事業団体連合会 理事

大井 正樹 氏

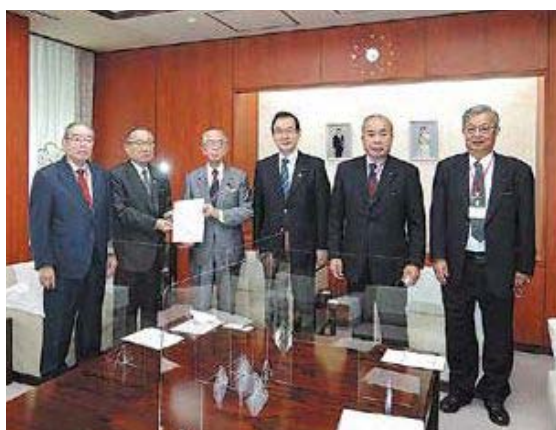
北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 中央要請

令和4年度の概算決定に向けて、北陸四県土地改良事業団体連合会協議会（幹事県 福井県）では北陸四県の各土連の会長、副会長、事務責任者が、令和3年11月16日～17日に東京都内に

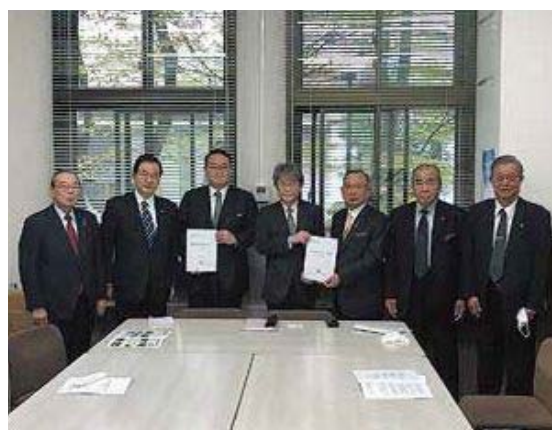
て、自由民主党本部と各県選出国會議員、財務省にて財務大臣ほか幹部職員、農林水産省では農林水産大臣ほか幹部職員に対して農業農村整備事業当初予算増額の要請を行いました。

要請先

自由民主党、財務省、農林水産省、県選出国會議員



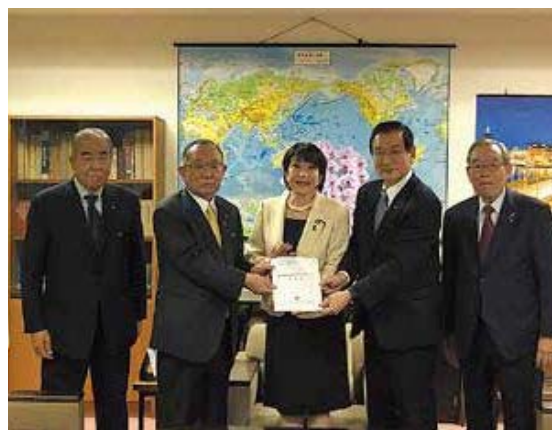
金子原二郎農林水産大臣



財務省主計局 阿久澤孝次長、野村宗成主計官



自由民主党 田中和徳幹事長代理



自由民主党 高市早苗政務調査会長

北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 北陸農政局要請

令和3年12月9日（木）、北陸四県土地改良事業団体連合会協議会は各連合会から専務理事並びに事務局が出席し、石川善成北陸農政局長に農業農村整備事業推進に関する要請活動を行

いました。

その後、北陸農政局の農村振興部幹部との意見交換を行いました。



石川善成北陸農政局長



北陸農政局農村振興部幹部との意見交換

農業農村整備の集い 一農を守り、地方を創る予算の確保に向けて

令和3年11月16日（火）午後1時30分から、砂防会館「シェーンバッハ・サポー」にて農業農村整備の集いが開催されました。国会議員を含め約600名の土地改良関係者が参集しました。

開催にあたり、全上連会長二階俊博氏から主催者挨拶があり、その後多数の来賓の方々より

祝辞をいただきました。

引き続き、令和4年度当初予算をはじめとした12項目の要請書が提案され、全会一致で採択されました。



全国土地改良事業団体連合会 二階会長

令和3年度富山県建設優良工事(土地改良部門)の表彰

富山県が建設技術の向上と建設工事の適正な施工を行い農業農村整備事業の健全な発展を期するため、毎年実施している県内優良工事の令和3年度「知事賞」並びに「農林水産部長賞」の表彰式が、令和3年12月16日富山県民会館において工

事関係者を招き開催されました。

また、各農林振興センターの表彰式は、新川管内(12月21日)、富山管内(12月21日)、高岡管内(12月20日)、砺波管内(12月20日)で、それぞれ開催されました。

【知事賞】

受注者	分野	工事名	工事場所
共和土木(株) 高村克宏	農地整備	ほ場整備出島地区第1工区ほ場整備工事	黒部市出島
(株)森長組 森和夫	農村地域防災減災	県営農村地域防災減災事業双子池地区双子池堤体改修工事	魚津市小菅沼
ケミコリバイブ(株)竹岸一郎	農地整備	ほ場整備小長沢地区第2工区ほ場整備工事	富山市婦中町小長沢
北陸ハイウェイ建設(株)山本吉弘	農村地域防災減災	農地防災庄川左岸二期地区海尻川排水路第1工区工事	砺波市鷹栖ほか

【農林水産部長賞】

受注者	分野	工事名	工事場所
加積建設(株) 古橋久成	農地整備	土地改良総合整備早月加積北部地区浜四ツ屋排水路工事	滑川市四ツ屋
(株)新興 柳田泉章	農地整備	土地改良総合整備荻生南部地区荻生南部7号用水路ほか2路線工事	黒部市荻生
(株)古井組 古井正彦	農村地域防災減災	用排水施設整備長引野地区長引野用水路第12工区工事	魚津市大沢
(有)大塚重機 大塚 巖	農地整備	ほ場整備浜黒崎地区第1工区ほ場整備工事	富山市浜黒崎
北尾工業(株) 北尾知大	農村総合整備	中山間総合整備富山広域地区八尾工区4-18水路第4工区工事	富山市八尾町布谷
協和建設(株) 若瀬政雄	農村地域防災減災	用排水施設整備外輪野牛滑地区外輪野用水路牛滑第5工区工事	富山市婦中町牛滑
野沢工業(株) 野沢 貢	農地整備	ほ場整備水橋三郷北地区第4工区ほ場整備工事	富山市水橋二ツ屋
(株)今村組 今村 健	農村地域防災減災	農地防災庄川左岸四期地区茶ノ木排水路第11工区工事	小矢部市島ほか
(株)グランテック 永島勝之	農地整備	土地改良総合整備土屋・烏倉地区用排水路ほか第26工区工事	高岡市福岡町烏倉
(株)城東工業 坪利智恵美	農地整備	ほ場整備開ほつ地区ほ場整備第4工区工事	高岡市福岡町開ほつ
(株)下場建設 下場正博	農村地域防災減災	県営農村地域防災減災事業島山池地区島山池堤体改修工事	氷見市稲積
安達建設(株) 安達正彦	農地整備	水利施設合理化桜ヶ池幹線一期地区是安排水路第1工区工事	南砺市是安
大窪建設(株) 久保武彦	農地整備	水利施設合理化桜ヶ池幹線一期地区桜ヶ池幹線用水路第7工区工事	南砺市是安
根尾建設(株) 根尾由和	農村地域防災減災	農地防災庄川左岸四期地区千保川用水路第3工区工事	砺波市千保

【新川農林振興センター所長賞】

賞区分	受注者	工事名	工事場所
県営 最優秀賞	(株)新川マリン	土地改良総合整備荻生南部地区荻生南部13号用水路ほか3路線工事	黒部市荻生
優秀賞	(株)稲場土建	土地改良総合整備西加積・中北地区24号用水路ほか1路線工事	滑川市上梅沢
団体 良賞	伊藤建設(株)	農地耕作条件改善事業片貝地区用水路改修工事	魚津市島尻
良賞	(株)花岡組	農地耕作条件改善事業天神地区排水路改修工事	魚津市天神野新
良賞	占原建設(株)	農村地域防災減災事業小摺戸地区安全施設設置工事	下新川郡人善町小摺戸

【富山農林振興センター所長賞】

賞区分	受注者	工事名	工事場所
県営 最優秀賞	大道建設工業(株)	ほ場整備上条中部地区第7工区ほ場整備工事	富山市水橋北馬場
優秀賞	(有)きんた	用排水施設整備湯神了地区湯神了用水路付帯工事	中新川郡上市町横楽寺
団体 優秀賞	ハヤシ工業(株)	基盤整備促進事業月岡町三丁目地区中屋上区13号用水路改修第2工区工事	富山市月岡町三丁目
良賞	寺林建設(有)	基盤整備促進事業富山幹線第1地区花崎4号用水路転落防止柵設置工事	富山市花崎
良賞	(株)ミヤマサ建設	県単独農業農村整備事業平岡地区第71号用水路工事	富山市平岡

【高岡農林振興センター所長賞】

賞区分	受注者	工事名	工事場所
県営 最優秀賞	白川建設(株)	土地改良総合整備北八代地区水路整備第4工区工事	氷見市北八代
優秀賞	水口工業(株)	土地改良総合整備下田子・上泉地区水路整備第6工区工事	氷見市下田子
良賞	(株)柴田組	基幹水利施設四ヶ村地区四ヶ村用水路第14工区工事	小矢部市清沢
良賞	谷崎建設(株)	土地改良総合整備土屋・烏倉地区排水路ほか第24工区工事	高岡市福岡町烏倉
団体 優秀賞	(株)高田組 射水支店	浄土寺地区団体営基盤整備促進事業整備工事(第1工区)	射水市浄土寺
良賞	(株)宮下組	県単独農業農村整備事業下八ヶ用水路第2工区工事	高岡市八ヶ
良賞	(株)大谷組	団体営基盤整備事業谷ヶ島用水路改修その2工事	小矢部市平田

(砺波農林振興センター所長賞)

賞区分	受注者	工 事 名	工事場所
最優秀賞	(株)池田組	中山間総合整備となみ・なんと山麓地区南砺工区水路整備第31工区工事	南砺市見座ほか
	木村産業(株)	防災減災(用排水施設整備)庄地区水路整備第5工区工事	砺波市庄川町庄
優秀賞	(株)北砺組	土地改良総合整備南般若地区水路整備第26工区工事	砺波市千保
良賞	(株)森組	県単独農業農村整備事業荒木地区用排水路整備工事	南砺市荒木
	(株)岡部 砺波営業所	基盤整備促進事業三郎丸5号1期地区三郎丸5号排水路第2工区整備工事	砺波市三郎丸、堀
	(有)西森組	県単独農業農村整備事業野村島小6号地区野村島小6号用水路整備工事	砺波市野村島

令和3年度 北陸ブロック 土地改良区体制強化事業 新規担当者研修

令和3年8月25日から8月26日にかけて、富山市の富山県土地改良会館において、令和3年度北陸ブロック土地改良区体制強化事業 新規担当者研修（当番県：富山県土地改良事業団体連合会）がWebにて開催され、北陸四県の県、市町村、土地改良区及び県上連担当者約50名が

参加しました。

研修は、藤井彰男富山県土地改良事業団体連合会事務局長の開催挨拶のあと、北陸農政局、富山地方方法務局、国土地理院、富山県土地改良事業団体連合会より講師を招いて、下記の内容で行われました。

日 時	研 修 内 容	講 師
8月25日	土地改良法の概要	北陸農政局 農村振興部 土地改良管理課 団体指導・資金係長 高森 正史
	土地改良換地制度の概要	北陸農政局 農村振興部 土地改良管理課 課長 松本 公一
	相統登記について	富山地方方法務局 登記部門 総務登記官 馬場 茂
	不動産登記法及び土地改良登記令	富山地方方法務局 登記部門 表示登記専門官 立道 実義
8月26日	測量法に基づく公共測量の諸手続き	国土地理院 北陸地方測量部 測量課 調査係長 富山 顕
	換地計画書作成実務(換地の流れ)	富山県土地改良事業団体連合会 計画部換地測量課 係長 松井 俊浩
	換地計画書作成実務	富山県土地改良事業団体連合会 計画部換地測量課 係長 松井 俊浩



土地改良換地制度の概要



換地計画書作成実務(換地の流れ)

令和3年度換地関係異議紛争処理実務研修会 (北陸ブロック)

換地関係異議紛争処理実務研修会（主催：全土連、開催県：石川県土連）が令和3年10月29日 Webにて開催され、農村振興局・北陸農政局・全土連・北陸4県の県・県土連の換地担当者33名が出席しました。

挨拶の後、農林水産省農村振興局土地改良企画課の一條企画官から「換地を取り巻く状況について」と題して中央情勢についての報告、法務省民事局民事第二課の池田係長から「長期相続登記等未了土地解消作業による成果」について報告が行われました。引き続き富山県・新潟県・福井県の換地関係異議紛争処理事例に基づくケース・スタディーの検討会が行われました。

テーマは、「未整備地域における登記簿と公図が一致していない物件について、地図訂正により処理を行った事例」、「相続人に、事業の実施等に異議を唱える者がおり、相続登記の協力要請に応じないため、法定相続分で共同相続として処理した事例」、「登記申請の段階で発覚した二重登記の解消について、関係者の理解が得られず訴訟に発展しかけたが、結果的に対処出来た事例」について、活発な意見交換及び総括が行われました。最後に、中央換地センターから「土地改良換地異議紛争の未然防止に係る啓発普及資料等について」等の説明が行われ全日程を終えました。



各種研修会

①令和3年度 富山県複式簿記導入促進特別研修会

10月12日（火）、県内の改良区を対象にした標記研修会が開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、Web（ウェビナー）での開催となり、88名の参加がありました。

なお、Web参加が難しい改良区については、本会研修会室での会場参加となりました。

始めに全国土地改良事業団体連合会支援部の市村部長より挨拶をいただき、研修にはいりました。

研 修

- 1 資産評価マニュアル等
講 師 全国土地改良事業団体連合会 支援部主任 野 崎 敬 氏
- 2 会計細則見直し等
講 師 全国土地改良事業団体連合会 支援部部长 市 村 和 寿 氏
- 3 開始貸借対照表
講 師 全国土地改良事業団体連合会 支援部参与 田 村 栄 二 氏
- 4 財務諸表等の作成手順
講 師 全国土地改良事業団体連合会 支援部主幹 田 中 克 哉 氏

②富山県構造改革農地整備推進協議会 研修会

富山県構造改革農地整備推進協議会（会長；齊藤高志 大門町土地改良区理事長）では、令和3年7月2日（金）に農地整備事業における達成状況報告書等の作成に関する研修会を行い、

土地改良区職員等32人が参加しました。講師として県庁農村整備課 帯刀主任から農地整備事業促進計画の達成状況報告書の記載方法について説明して頂きました。



また、令和3年11月26日（金）には、日本水士総合研究所 富山セミナーにおいて本協議会が共催として参加しました。講演内容は、ロボット技術やICT等を活用したスマート農業の

研修であり、土地改良区の役職員や農地整備事業を実施または計画している地区の代表者約50人が参加しました。



式典

◆小水力発電所の運用開始式 外輪野用水P/S

平成30年度に地域用水環境整備事業で着手した地区において、小水力発電所の完工式が下記のとおりおこなわれました。

	完工式 年月日	地内	最大出力 (kW)	売電開始	事業主体
外輪野用水発電所 (外輪野地区)	令和3年 7月12日	富山市 婦中町外輪野	110	令和3年 5月17日	外輪野用水土地改良区



外輪野用水発電所



(S形チューブラ水車)

◆水橋農地整備事業所の開所式

令和3年10月22日(金)水橋ふるさと会館相山ホールにおいて、水橋農地整備事業所開所式が開催されました。

式は、石川善成北陸農政局長の式辞で始まり、堀口正富山県農林水産部長を始め藤井裕久富山市長、上田修正国営水橋地区農地整備期成同盟会長から祝辞が述べられました。

その後、山本昌也水橋農地整備事業所長より事業概要説明があり、最後に事業所職員紹介を行い、式は終了しました。

開所式終了後、会場を水橋農地整備事業所に移し、石川善成北陸農政局長と藤井裕久富山市長による看板の上掲式が行われました。



◆複式簿記導入等相談窓口のご案内◆

本会では土地改良区等に対して以下のような事案の相談窓口を設置しております。

1. 複式簿記会計の導入
2. 外部監査の導入
3. その他会計経理の課題

ご相談・お問い合わせ

総務課 TEL 076-424-3300

◆富山県農業用水小水力利用推進協議会◆

◆土地改良区体制強化事業の一環として、農業水利施設を活用した小水力等発電設備の円滑な導入・運営を図るため、全上連が開催する研修に当協議会から下記のとおり参加しました。

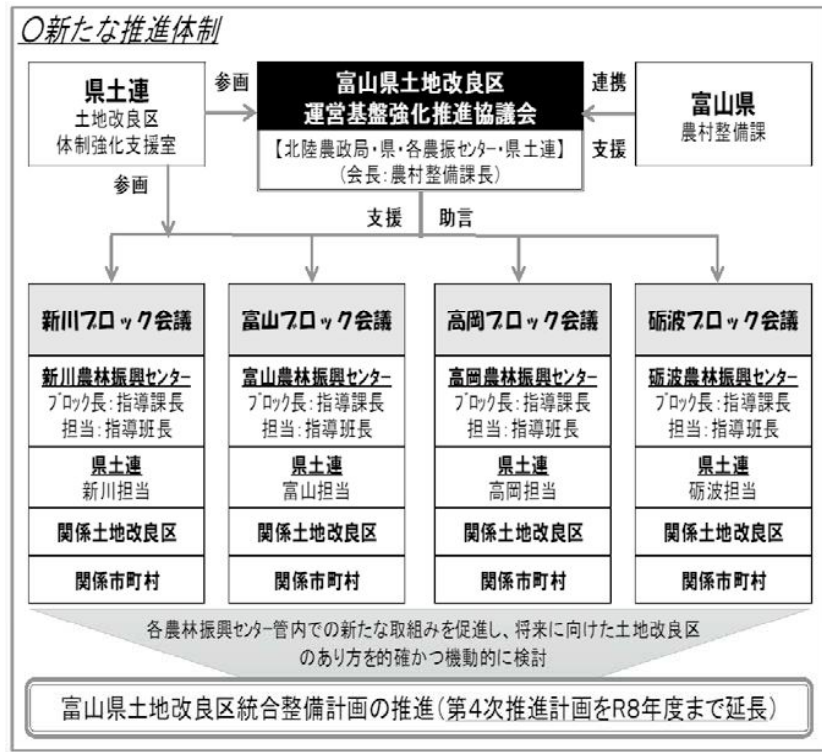
名 称	開催日・場所	主 催	参加人数
令和3年度土地改良区体制強化事業施設管理研修（発電施設）のうち発電電気技術研修（第1回～第3回）	R3/5/24-5/28、 R3/7/5-7/9、 R3/12/13-12/17、 オンライン開催	全上連	1名
令和3年度土地改良区体制強化事業施設管理研修（発電施設）のうち発電技術研修	R3/9/28, 29 オンライン開催	全上連	7名
令和3年度土地改良区体制強化事業施設管理研修（発電施設）のうち発電維持管理研修	R3/10/27, 28 オンライン開催	全上連	12名
第6回全国小水力発電大会inとやま	R3/10/28-29、 会場：富山市	全国小水力発電大会実行委員会・全国小水力利用推進協議会	

◆ため池サポートセンターの設立◆

県内の農業用ため池の管理者に対し、ため池の適正な保安全管理および災害発生の未然防止を図るための技術的支援などを行い、ため池保安全管理体制を強化すること、ならびに劣化状況評価に基づき経過観察を行い、防災工事の推進に必要な情報を整理することを目的に、令和3年12月24日に「富山県サポートセンター」が設立されました。当会では富山県から委託を受け、相談窓口を設けております。

◆富山県土地改良区運営基盤強化推進協議会の設立◆

令和2年度末で終了する富山県土地改良区整備計画（第4次推進計画）を「富山県農業農村整備実施計画」の目標年次である令和8年度まで延長するとともに、各土地改良区の状況に応じた運営基盤の強化対策を的確かつ機動的に推進するため、各農林振興センター（新川・富山・高岡・砺波）にブロック会議を設置するなど、これまでの「富山県土地改良区合併推進本部」に変わる新たな推進体制を整備する。



【協議会の構成】

- 会 長 富山県農林水産部農村整備課長
- 委 員 富山県農林水産部農村整備課主幹
富山県農林水産部各農林振興センター（新川・富山・高岡・砺波）指導課長
富山県土地改良事業団体連合会
北陸農政局農村振興部土地改良管理課長
- 事 務 局 富山県農林水産部農村整備課土地改良企画係

【各ブロック会議】

- ブロック長 富山県農林水産部各農林振興センター（新川・富山・高岡・砺波）指導課長
- 構 成 員 富山県農林水産部各農林振興センター（新川・富山・高岡・砺波）指導班長
(必要に応じ) 富山県土地改良事業団体連合会担当者土地改良区、市町村、他

【活動計画等】

毎年度、活動計画を必要に応じ定め、年度末に活動内容を確認・取りまとめの上、次年度以降の活動に反映させる。

◆富山県多面的機能推進協議会◆

富山県多面的推進協議会では多面的機能支払交付金の活動の活性化・継続性の確保を目的としております。令和3年10月18日に富山産業展示館(テクノホール)において、「多面的機能支払推進研修会」を開催したところ、活動組織、関係機関などから約640人が参加しました。

研修会では「農業用水路の補修における留意点」(石川県立大学 環境科学水環境管理系 教授 森丈久氏)、「防草シートを用いた効果的な雑草対策」(特定非営利活動法人 緑地雑草科学研究所 雑草インストラクター 長田 大輝氏)、「富山県の多面的機能支払の取組状況について」(富山県農村振興課 主任 柴田 裕紀氏)の講演を受けました。また、同時に活動に必要な資材や機械、事務支援ツールなどの企業・団体ブース展示を行い、県内の活動組織における広報事例や田んぼダムの紹介等のパネル展示が行われました。



◆非補助農業基盤整備資金のご案内◆

1. 非補助農業基盤整備資金とは

土地改良区等が国からの補助を受けないで、かんがい排水やほ場整備、客上などの事業に取り組み、農業生産基盤整備・保全の推進を図る場合、日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対し低利で融資する資金です。国の補助対象でない県又は市町村単独による補助事業についても、融資の対象となります。

2. 対象となる事業種類・内容

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客上、農道、索道(軌道等運搬施設を含む)、畦畔整備、農地造成、防災・農地保全、農業集落排水(農村下水道)、発電施設。

維持管理計画書作成に係る調査費、土地改良区事務所の新增築、事務機器や複式簿記導入に係るシステム、車両など。

3. 融資条件

●貸付対象者

土地改良区、土地改良区連合(事業主体となる場合に限る)、農業協同組合、農業協同組合連合会、農業を営む方、農業振興法人

●償還期間 25年以内(うち据置期間10年以内)

【農業農村整備資金利率】

区 分		R 3.11.18現在
補 助 事 業	県 営	0.45 %
	団 体 営	0.30 %
非補助事業	一 般	0.30 %

〈お問い合わせ先〉

- ・ 富山県農林水産部農村整備課土地改良企画係 076-444-3375
- ・ 北陸農政局農村振興部土地改良管理課 076-263-2161 (代表)
- ・ 富山県土地改良事業団体連合会事業部管理指導課 076-424-3380

〈融資担当機関〉

- ・ 日本政策金融公庫富山支店 076-441-8411
- ・ 農林中央金庫富山支店 076-445-2508 (公庫受託課)

◆北陸農政局からのお知らせ 北陸農政局の排水ポンプ車を派遣します◆

北陸農政局では、台風や集中豪雨、地震、その他異常な自然現象等に際し、土地改良施設の機能を保全するための排水作業に排水ポンプ車を派遣します。

**排水ポンプ車の仕様**

- 総排水量: 30m³/分(水中モーター式)
※1万m³のため池なら、約6時間で排水可能
- 排水ポンプφ200×6台、全揚程10m
※全揚程20mの場合は、総排水量15m³/分
- 車両: 全長7.7m、全幅2.3m、全高2.7m
重量: 8t未満(4tトラック相当)中型免許
- 満タン給油(軽油350L)で約13時間運転
現地で給油を行うことにより継続運転が可能

派遣の仕組み

- 自治体、土地改良区の要請を受け、北陸農政局所有の排水ポンプ車を現地に派遣し排水活動を支援します。
※現地の状況によっては、自治体等からの要請を待たずにプッシュ型で出動します。

派遣の内容及び費用

- 原則として、排水ポンプ車の運搬(往路)及び設置までは北陸農政局で行い、ポンプの運転管理、撤去、運搬(復路)は利用者で行っていただきます。
- 貸し出しされた排水ポンプ車の運転管理(軽油代等)、使用期間中の整備、撤去、運搬(復路)、返納時整備に必要な費用については、利用者の負担になります。
※被害状況が甚大であるなどの特別な事情がある場合は、北陸農政局が一連の作業を行いますので、費用は不要です。
※被災自治体等からの要請に寄らず、プッシュ型で北陸農政局自ら出動し作業する場合の費用は不要です。

連絡先等

派遣の要請: 080-1951-7088 (北陸農政局防災課 担当) 夜間・休日も受付
派遣に関するお問合せ: 076-232-4722 (北陸農政局設計課 工事検査官) 平日8:30~17:15
ホームページ: <https://www.maff.go.jp/hokuriku/kokuei/dogi/pomp.html>



お 知 ら せ

●今後の主な行事予定(令和4年1月～6月)●

月日	会 議 と 行 事	場 所	参加対象	備考
1月20日	令和3年度「水土里フォーラム」及び「とやま水土里賞表彰」	富山国際会議場	関係者	共催
2月16日	富山県担い手育成農地整備研修会 主催 富山県構造改革農地整備推進協議会	アイザック小杉文化ホール ラポール	関係者	
2月中旬	ため池監視・管理体制の研修会	県土連	県・市・町、 ため池管理者	県
2月下旬	小水力発電等に関する技術研修会	県土連	富農水力 協議会会員	
3月18日	本会 第64回通常総会	ホテルグランテラス富山	会員・来賓等	主催

(注) 本案はあくまでも予定であり、別途詳細案内等を確認のうえ参加ください。

本会では、令和3年度各資格試験において下記の職員が合格しました。これからも皆さまのご期待に応えていくよう努めてまいりますので、引き続きよろしくお願ひします。

- 会計指導員 二木ゆかり(総務部 総務課 係長)
 田中 裕基(総務部 総務課 主事)
- 土地改良換地士 小林 夕樹(計画部 換地測量課 技師)

水土里探訪ウォーク in 「朝日」



みどり
水土里ネット富山
農村環境を保全する

農業農村整備事業等の調査・測量設計等業務に関する
ご相談は、下記までお問い合わせください。

富山県土地改良事業団体連合会

〒939-8214 富山市黒崎17番地
TEL076-424-3300 FAX076-424-3332
<http://www.tym-midori.net/tomidoren>

